

海老名市高齢者虐待対策地域連絡会第1回連絡会議事録

平成29年6月20日(金)

午後3時00分～4時30分

海老名市役所7階 705会議室

○出席委員(根岸委員欠席)

小田桐委員、藤田委員、錦織委員、桐生委員、市川委員、白石委員、大谷委員、石川委員、横山委員、藤澤委員、川村委員、本田委員

○市職員事務局

橋本保健福祉部長、木村保健福祉部次長、萩原高齢介護課長、安本高齢者支援係長、山崎主事

●第1回連絡会

1. 開会

2. 委嘱状交付式

橋本保健福祉部長より委嘱状交付

3. 保健福祉部長あいさつ

橋本保健福祉部長よりあいさつ

4. 第1回連絡会

(1) 委員紹介

各委員より自己紹介

(2) 事務局紹介

(3) 会長・副会長選出

会長に桐生委員、副会長に藤田委員選出

(4) 会長あいさつ

会長よりあいさつ

(5) 議事

①海老名市における高齢者虐待の状況について・・桐生会長により進行

事務局より説明

資料1により海老名市の高齢者虐待の状況について山崎主事より説明。

高齢者虐待事例について

資料2により海老名市の高齢者虐待の個別事例について山崎主事より説明。

・質疑応答（高齢者虐待の状況）

委員：1. 相談・通報件数と4. 被虐待者の状況等で合計の数字が違うのはなぜか。

事務局：施設虐待で被虐待者の性別が特定できない場合等、数としてカウントできないものもあり合計数に違いがある。

委員：対応で見守りが多いのは、緊急的に対応が必要なケースが少なかったということか。

事務局：28年度は比較的、緊急で対応が必要なケースが少なく、ケアマネジャー等、第三者による見守りで対応するケースが多かった。

委員：通報先については集計しているか。

事務局：最初の通報先については集計していない。しかし、どのケースも包括支援センターか行政が関わっているケースとなっている。

委員：平成28年度の高齢者虐待の状況における全体的な傾向はこれまでと同じか。

事務局：数字の上ではこれまでと大きく変化はない。

委員：報道等で虐待について騒がれているが、虐待は増えていないのか。

事務局：わずかではあるが、28年度は27年度に比べて減少している。行政や支援関係者も虐待については気を付けて対応しており、市民の方々も虐待という言葉を目にする機会が多いことで、虐待に対する意識付けがなされているのではないかと。

・高齢者虐待の事例について委員の意見のまとめ

まずは本人の安否を確認することと、本人の意向を確認していくことが必要。

成年後見人をたてる動きを進めていくべき。裁判所を絡めることがこのケースでは必要。

②その他

・「資料4」フローについて

在宅及び施設虐待のフローをお配りした。虐待ケースにおいて、必要があれば「高齢者虐待対応ケア会議」を開催することもある。その際には、委員の皆様にも協力をお願いしたい。

・今後の予定について

高齢者虐待の研修を行うことについても検討している。また、啓発活動として例年通り広報えびなにて虐待の啓発記事を掲載予定。

5. 閉会

藤田副会長より